

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 短期的使用鼻咽喉頭エアウェイ JMDN コード: 70260000

経鼻エアウェイ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

＜適用対象（患者）＞

次の患者には使用しないこと。

頭蓋骨損傷、鼻骨折、上顎骨骨折、脳出血が疑われる患者

【形状・構造及び原理等】



本品は、先端を鼻腔に沿って患者の咽喉頭まで挿入し、気道を確保することが出来る経鼻エアウェイである。経鼻エアウェイ挿入後に気管支ファイバースコープ等の手術器具を経鼻エアウェイ内腔を経由して挿入した後、経鼻エアウェイのみ抜去することができる。

材質：ポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジイソノニル）
滅菌：EOG 滅菌

【使用目的又は効果】

本品は、気道の開存性を維持するために鼻孔から咽喉頭に挿入する。

【使用方法等】

- 適切なサイズを選択し、本品に異常がないことを確認する。
- 本品を汚染に十分注意しながら包装内より取り出す。
- 本品の先端に潤滑剤を塗布する。
- 本品を鼻腔から適切な位置まで挿入する。
- 本品からの呼吸を確認する。
- 留置位置が適切であることを随時確認する。
- 経鼻エアウェイ挿入後に気管支ファイバースコープ等の手術器具をエアウェイ内腔を経由して挿入した後、経鼻エアウェイのみスプリットを開いて抜去することができる。
- 終了後、感染・汚染に注意しながら、本品を鼻から取り外し、安全に廃棄する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 本品に潤滑剤を塗布する際は、潤滑剤で本品の内腔が詰まったり、膜ができていないことを確認すること。
[潤滑剤により、チューブ内腔が閉塞し、部分的あるいは完全に換気が阻害されるおそれがあるため。]
- 適切な換気を行うこと。[本品内腔の分泌物の凝固を最小限にし、気管粘膜損傷を防ぐため。]
- 定期的にサクションを行い、本品内腔を開放状態に保つこと。
気道確保の状況を定期的に確認し、必要に応じて交換すること。
- 本品と共に他の製品を使用する場合は、製品の添付文書又は取扱説明書を必ず読み、その指示に従って使用すること。

＜併用注意＞

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
レーザー治療器 電気手術器	本品を介して高濃度酸素を投与している場合は、本品の使用部位の近傍でレーザー治療器（レーザーメス）や電気手術器（電気メス）を原則として使用しないこと。	酸素中でレーザー治療器（レーザーメス）・電気手術器（電気メス）を使用すると突然発火したり、発火による気道熱傷等の恐れや有毒ガス発生の可能性がある。

＜不具合・有害事象＞

1) 不具合

チューブの閉塞、狭窄、潰れ、キンク、破損

2) 有害事象

本品の仕様に伴い、以下の有害事象が生じる可能性があるため、患者の状態を十分に観察し、異常が生じた場合は直ちに使用をやめ、適切な措置を施すこと。

- ・鼻腔、咽喉頭の粘膜損傷や出血等
- ・喉頭痙攣の誘発等

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- ・水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所をさけて室温で保管すること。

＜使用期間＞

- ・製品の外箱の使用期限欄を参照すること

【主要文献及び文献請求先】

株式会社 フジメディカル
TEL: 03-3356-8377

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

株式会社 フジメディカル
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 5F
TEL: 03-3356-8377

外国製造業者:

パシフィックホスピタルサプライ社
Pacific Hospital Supply Co., LTD.
台湾

